

われわれの病院・診療所は
働くひとびとの医療機関である



船橋二和病院ホームページアドレス
http://www.futawa-hp.jp



船橋二和病院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮野 暁
月一回発行 1部 50円

2021年度 友の会「拡大強化期間」9月～12月

「困った」に寄り添い、手助け「いのちの相談活動」をすすめ 会員を増やし・安心の地域づくりを!!

各地区で高齢者訪問・いのちの相談活動が始まっています

寄り添い・見守り・手助けの活動をさらに

「いのちの相談」ポスター
貼り出し相談活動広げ
る!

友の会の各地区では日常的に相談活動を行っています。コロナ禍、医療や介護のご相談、生活での困りごとなど何でも、お気軽にご相談をお受けするために、「いのちの相談」活動を行っています。ご相談のある方は友の会事務所にご連絡を。

また、地域での相談活動をさらに進めるために「いのちの相談」ポスターを作りました。10月20日現在、貼り出した地区は鎌ヶ谷東地区、丸山地区、高根台地区です。



安原まゆみさん

さらに他団体にポスター貼り出しの依頼をしています。

この間、船橋二和グリーンハイツ自治会、二和町会、二和地区社協、高根台地区社協、高根公団、二和児童民生委員協議会、法典地域包括支援センターなどに依頼・困難事例の相談を行いました。

この間、船橋二和グリーンハイツ自治会、二和町会、二和地区社協、高根台地区社協、高根公団、二和児童民生委員協議会、法典地域包括支援センターなどに依頼・困難事例の相談を行いました。



二和町会長さんに申し入れ

この間、二和地区の安原まゆみさんが見守っているAさんをご紹介いたします

1年余り前から50代のA

子どもの頃からDV
精神的に深いダメージ
子ども時代より家族からDVを受けていたとのこと。近所のSさんに助け

生活のこと
医療費のこと
介護保険のこと
お困りの方は気軽に相談ください

民医連いのちの相談所

船橋二和病院健康友の会
047-449-4417
(月～金・10時～16時)

地区() 一()
電話()

を求めて飛び込み、元市議の関根さんに繋がり、アパートの手配と生活保護を受けることが出来ました。

心身とも衰弱

二和病院に入院
過酷な体験をしているため、精神的なダメージが大きく、体も衰弱してしまっています。話し相手、聞き手として関り、1年余りが過ぎたある日、「これは大変」と思ふ体の状態になっており、本人に入院をすすめ、市役所の生活保護課の担当で二和病院に入院しました。

病院では医師をはじめ、医療相談室の水島さんに相談に乗っていただきました。

Aさんに安らぐ時間を
作ってあげたい
しかし、入院している、それが精神的苦痛、負担となってしまう心を圧迫し、1週間程で退院し、自宅で服薬と通院をしながら様子を見ることになりました。

あなたも友の会にご入会を! 「ふれあいクリニック」会員増やし廊下コーナー



10月11日からふれあいクリニックの廊下で友の会入会のおすすり行動を行っています。みなさんの入会をお待ちしています。

この新聞(ふれあい11月号)がみなさんの手許に届く頃には、衆議院総選挙が終わって、いのちと暮らし、平和を守る新しい政権に交代し、日本のあらたな一歩が始まっていることを期待するばかりです(この原稿は10月9日に書いています)▼

顕微鏡

と強調しましたが、国会で審議もなく、「ボロが出ないうちに」とさっさと解散し選挙に打って出ました▼衆院選挙のなかでは、いくらか表紙が変わっても政治の自身が変わらないことが明らかにされました。政権交代こそが新しい政治実現の道です▼「いのちが最優先される社会への転換を」と全日本民医連は今度の総選挙に向けて政策・要求をあげました。実現へ向けて友の会も共に運動を進展させていきます▼その力が今度の総選挙では大きくなりました▼「市民と野党の共同・共通政策」が合意され、実現へ全力を尽くす。とされたことです。「命を守るために政治の転換を」と共通政策では6項目提言しています。それは▼「憲法に基づく政治の回復」▼「科学的知見に基づく新型コロナ対策の強化」▼「格差と貧困を是正する」▼「地球環境を守るエネルギー転換」をはかる▼「ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会実現」▼「権力の私物化許さない行政を」などです。

いき友の会活動

新興住宅に「ふれあい新聞」「友の会紹介パンフ」を配付 友の会をお勧めしました

二和地区



9月25日(土) 6名・3組で40世帯に「ふれあい新聞」と、「友の会紹介パンフ」を配付しました。10月2日(土)5名で29軒訪問し入会をお勧めしました。対話できたのが11人、インターホン越しが8人、留守が10人でした。対話できた人は健診を受診されている方。小児科を受診されている方は健診、予防接種に関心が高く入会を検討してくれました。今回訪問してみても、あらためてこの地域には二和病院がなくてはならない、二和病院が信頼されていること、初

私のアイドル



組織部の若尾智香子さんの5人目のお孫さん光(ひかり)ちゃん(1才8ヶ月)お姉ちゃんとおそろいでごきげん。パパは薬剤センターで働いています。

「新しい人、若い人に友の会を知ってもらおう」と、二和西5丁目の「たまご屋」さんの回りにできた新しい住宅に宣伝することにしました。

は健診、予防接種に関心が高く入会を検討してくれました。今回訪問してみても、あらためてこの地域には二和病院がなくてはならない、二和病院が信頼されていること、初

めての地域に出かけ、若い人に友の会の活動を宣伝することが大事であることを

実感でき、楽しい訪問でした。 斉藤 文世

9月のウォーキング18名参加 1名入会

丸山地区



撮影の時だけマスクを外しました

治会館)から出発し、数少ない船橋市の公共施設丸山公民館、丸山小学校、法典東小学校が集中する丸山4・5丁目を巡るコースです。これらの公共施設は災害時の避難場所指定されていますが、坂道や狭い道「イザという時たどり着けるかしら?」とのツブヤキも聞かれました。当日はいまにも降りそうな空模様。ゴールの馬込沢駅に11時頃到着、雨に降られることなく無事終了しました。

9月のウォーキングは26日(日)に「丸山地域の街歩き(第3弾)」を18名の参加で行いました。

今回、丸山地域(丸山新田)の開墾の碑や古い墓石の残る駒形神社(丸山自

地域の情報交換も行われる 「いつでも元気」読者会

八木が谷地区は、9月22日(水)の午後「いつでも元気」の読者会を種子事務所で開催しました。6名の参加者でした。

10月号を利用し、レッツ脳トレを実施しました。皆で「これは何かね」等々言い合いながら、得意な人が皆さんに教えて実施しました。

その後、食について話になり、スーパがみやぎの第三公園と自治会館で品物を販売し始めました。5



なるべく整形外科的な雑談 ⑬

できるだけ長く、健康な生活を送りたい。誰でもが願う思いでしょう。

そんな思いに答えようと、日本整形外科学会等によって普及活動が行われている概念があります。ロコモティブシンド

ロコモテスト、ロコモの予防、改善のためのロコモトレ等については、日本整形外科学会(JOA)公式サイト「ロコモチャレンジ」等を是非御覧頂きたいと思えます。動画にての解説もあります。

2018年スポーツ庁の調査によると、ほぼ毎日運動する50〜54歳の人

- ①片脚立ちで靴下がはけない
- ②家の中でつまづいたり、すべったりする
- ③階段を上がるのに手すりが必要である
- ④家のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である
- ⑤2kg程度の買物(1リットルの牛乳パック2個程度)をして持ち帰るのが困難である
- ⑥15分くらい続けて歩くことができない
- ⑦横断歩道を青信号で渡りきれない。

一つでも当てはまるとロコモの心配ありと考えられます。

適切な介入によって予防、改善を図るためのものです。判定がはっきりするたためではありません。運動器の健康維持

には運動習慣が大切なことも認識していただきたいものです。

年会費納入のお願い

前年の11月にご入会いただいた方は、年会費納入の時期です。また、それ以前にご入会の方で、年会費を支払っていない方も、年会費の納入をお願いいたします。

ふたわ診療所友の会コーナー(月)金/10時〜12時(友の会事務局)

お問い合わせは友の会事務局まで。納入の際は会員証をお持ちください。

友の会事務局 047(449)4417

訂正 9月号の「なるべく整形外科的な雑談」の記事について(語り)いじめることので得られる幸福(↓)正しくは「いじめることので得られる幸福」に訂正して掲載します。

◎ご購入申し込みはもよりの地区役員、友の会事務局047(449)4417 外来案内コーナー(総合案内となり)まで